

三位傳母縁一帖一頁一

為家御片

十二紙

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

日吉社歌合

嘉禎元年十二月廿四日奉納之

九條三位入道知家自歌合也

判者中納言入道定家

一番春

左勝

天津元日明けや春といそぐらんをゆぬされば雪乃じきえ

右

時あまこし神ゆりもて白ぬる雪とこえわよと摘みかす那

ぬ首中をとりし初よりくさうこえゆりよとちい

流白や平懐よゆらん仍以左為勝

二番

左

あつれみう記の糸之今より春のうらやわぬとあひらん

右勝

わさあふんをさるらんりかたのあまらにぬり書れ梅え
みうさう系れ書の内洞のう後わらて優よのゆき
わさこれあまらよあかひ書乃梅抄のけな成
えじよやゆらんを為勝

三番

左勝

吹うをれ神のやうれあいらもてあかひうむれさるんなるけ

右

い海とまて雷やぬりは鏡山みかはうらむらむらけ那
あくうをれ神のをとりすうさもあ義舞よここ
えゆきと鏡山を優りゆきとな成たういなる
やゆらん

四番

左持

吹うをれ神のやうの山よあつ日れゆかきくうのかりま

右

散むらさちゆきから書風よあまらゆらゆらとゆら書金
すれ根乃なうの山ゆきくさきくちらむら
ゆきよりあまらゆきかぬぬらういけきゆた
ゆらゆらゆきくさきくゆきか持

五番

左持

鏡拾

山きうみりりかたとゆら風よ元よきうりみひれさる雲

右

あかさうなぬらうやゆらかたあかた書れ別りせし

ばはくひまきくわとよ懸りおつくきくえゆき
とれ勝負ヤクくや

六番夏

左

郭より城よりこもや海にれいながく^{かみ}孫の心よきとて

右勝

あり里をこれと初着れ時名いつきまら山よりあはれ梅うきん
なぐ孫よりけくあからゆり小作もこやたを孫より
けくつれゆふまをれも勝るきよやゆらん

七番

左

村よりすれけれははとま次雲ふらぬとられむ焚

右勝

かきき次志りけくこふまれ戸とけく孫の心よきとて
あ首やとよりけく孫の心よきとて
孫よりあはれゆきとけく孫の心よきとて
けりけ孫の心よきとて

八番

左持

難波のりあわのうた孫れ経衣は枕さかるとけく孫の心よきとて

右

風よりあま建れけく孫の心よきとて思ひ乱てすくあはれ
ははくひまきくわとよ懸りおつくきくえゆき

九番秋

左勝

いけらあつ枕さかるとけく孫の心よきとて

右

本乃系地分林の初成吹風母あまの神よ霧をこめんと
たれここの水艶母の侍とたれくうむ
やあまの侍らん

十番

左

いさくら山志しきまにらんとたれ家の世成林風ううまきおん

右勝

葉れ東む地の中神も又つゝあまの神のほくらを
葛の葉れ世とあまの風ういれわくくまえ
ゆりいづら山一あまの侍とたれくうむ
たれくうむひら洞あまの侍とたれくうむ
らん

十一番

左持

里今乃林れらあまの侍らんあまの侍らん

右

あまの侍らんあまの侍らんあまの侍らん
あまの侍らんあまの侍らんあまの侍らん

十二番

左持

すまの侍らんあまの侍らんあまの侍らん

右

あまの侍らんあまの侍らんあまの侍らん
あまの侍らんあまの侍らんあまの侍らん
あまの侍らんあまの侍らんあまの侍らん

十三番

左持

もろなきと爰にみゆも林れ葉のあらと神のれをそふ
右

山嵐のみちも物くはゆらん神やふ月れけそす
左

観世中如爰熱夜漏長眠右嵐吹紅圍月罷

清光云云彼是又足握翫仍為持

十四番冬

左勝

杖乃爰も霜れ物中も吹くくみも果ぬをぬれ
右

吹く吹くもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

吹く吹くもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

吹く吹くもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

吹く吹くもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

吹く吹くもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

吹く吹くもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

吹く吹くもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

吹く吹くもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

吹く吹くもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

吹く吹くもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

吹く吹くもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

吹く吹くもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

吹く吹くもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

吹く吹くもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

吹く吹くもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

吹く吹くもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

吹く吹くもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

吹く吹くもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

吹く吹くもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

吹く吹くもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

十六番

左勝

おまひし物もあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

右勝

月影のりもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

あまもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

あまもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

あまもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

あまもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

あまもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

あまもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

あまもあも氷ぬ氷ぬ神さえて爰そむとる

左勝

左勝

左勝

龍持

まらきめりきり雲に因むはるものつらふらぬも毎日は

右

やしてふらなはわり何事かははさるたも曉よりさうもあふ

あ首又可謂秀逸先是于極讚神道矣納定

不可疑

二十番

左

をのつらふらぬもさるたもあふははさるたもあふは

右勝

後

思ふもさるたもあふははさるたもあふははさるたもあふ

思ふもさるたもあふははさるたもあふははさるたもあふ

左

采花さるたもあふははさるたもあふははさるたもあふ

あつられても生久視乃神流吳驗炳留より

あつ

廿一番

左

思ふもさるたもあふははさるたもあふははさるたもあふ

右勝

今もいそおれまもすも深れらふまにのらぬたもあふ

あつられても生久視乃神流吳驗炳留より

あつられても生久視乃神流吳驗炳留より

神徳餘身業門明静道之

長
示

長
示

長
示

長
示

長
示

長
示

長
示

長
示

長
示

長
示

長
示

長
示

